

9月の植物

ヤマノイモ (ヤマノイモ科)

学名 : *Dioscorea japonica* Thunb.

とろろご飯にやまかけソバ、新鮮なヤマイモをすりおろしただけだが、絶妙な組み合わせで、秋ならではの味覚である。似たものにナガイモがあるが、これは中国原産、畑で栽培される。これと区別するためにヤマイモを自然生または自然薯と呼んでいる。

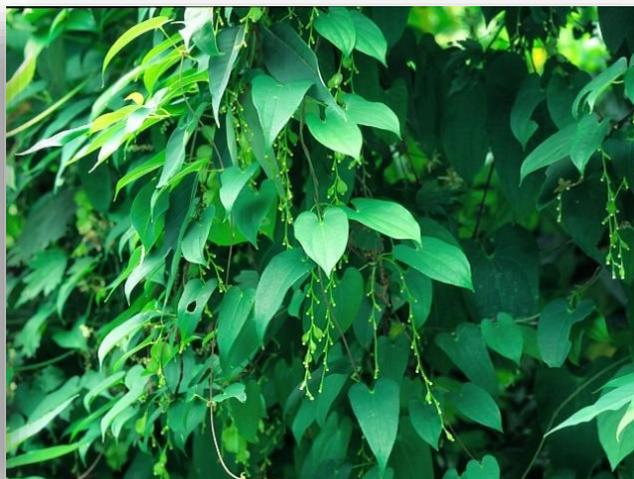
ヤマイモの正式名はヤマノイモで日本各地の山野に自生するヤマノイモ科の多年性つる植物。茎は右巻きで樹木などからみつき、葉は対生なので他のヤマノイモ科の植物（互生）と容易に区別ができる。最近になって気づいたことがある。それは雄株の花序は直立し、雌の花序は下垂すること、佐賀県内でよく見かけるオニドコロやカエデドコロも同様に雄株の花序は上向き、雌株は垂れ下がる。この共通点は一体何なのか、興味が持たれる。

ヤマノイモの根茎は薬用としても重要である。掘り上げた根茎の外皮を除いて、適当な長さに切って日干ししたのが生薬の「山薬」で、八味丸など滋養強壯を目的とした漢方処方に用いられる。

(写真・文 野中源一郎)



ヤマノイモ (雄株)



ヤマノイモ (雌株)



(雄株)



(雌株)

オニドコロ



(雄株)



(雌株)

カエデドコロ